

インマヌエル中目黒キリスト教会

2012年8月5日 聖日礼拝

エペソ書連講⑳

「偽りを捨てて、真実を語る」

エペソ人への手紙4章22-32節

竿代照夫 牧師



聖書朗読

新約聖書

エペソ人への手紙4章22-32節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp345~/ 第三版の聖書はp378

22 その教えとは、あなたがたの以前の生活について言うならば、人を欺く情欲によって滅びて行く古い人を脱ぎ捨てるべきこと、

23 またあなたがたが心の霊において新しくされ、

24 真理に基づく義と聖をもって神にかたどり造り出された、新しい人を身に着るべきことでした。

25 ですから、あなたがたは偽りを捨て、
おのおの隣人に対して真実を語りなさい。
私たちはからだの一部分として互いに
それぞれのものだからです。

26 怒っても、罪を犯してはなりません。
日が暮れるまで憤ったままでいては
いけません。

27 悪魔に機会を与えないようにしなさい。

28 盗みをしている者は、もう盗んではいけません。かえって、困っている人に施しをするため、自分の手をもって正しい仕事をし、ほねおって働きなさい。

29 悪いことばを、いっさい口から出してはいけません。ただ、必要なとき、人の徳を養うのに役立つことばを話し、聞く人に恵みを与えなさい。

- 30 神の聖霊を悲しませてはいけません。
あなたがたは、贖いの日のために、聖霊
によって証印を押されているのです。
- 31 無慈悲、憤り、怒り、叫び、そしりなどを、
いっさいの悪意とともに、みな捨て去りな
さい。
- 32 お互いに親切にし、心の優しい人とな
り、神がキリストにおいてあなたがたを
赦してくださったように、互いに赦し合い
なさい。

説教

エペソ書連講⑳

「偽りを捨てて、真実を語る」

エペソ人への手紙 4章22－32節

竿代照夫 牧師



主テキスト：

「ですから、あなたがたは偽りを捨て、
おのおの隣人に対して真実を語りなさい。
私たちはからだの一部分として
互いにそれぞれのものだからです。」

(エペソ 4:25)

前回の復習（22 - 24節）

- ・「古い人（生まれ持っている罪性）を脱ぎ、
- ・「新しい人」（贖いによって回復された
神のイメージ）を着るべきこと

[実生活における

「古い人」と「新しい人」との対照]

1. 偽り v s 真実さ (25節)

- ・ 嘘はサタンの得意技 (ヨハネ 8 : 44)

- ・ 真実さは社会生活、特に教会の交わり

の基礎 (ゼカリヤ 8 : 16)

2. 怒り v s 和解 (26 - 27 節)

- 罪に対する正義の怒りはOK
- 人に向けられると罪となりうる
- 悪感情にはタイムリミットを！

3. 盗み v s 勤労 (28節)

- ・盗みは十戒に反する
- ・他人を助けるため、しっかり働け

4. 悪口 v s 建徳

(29節)

- 悪い言葉： 冒涇、容赦なき批判、
卑猥な冗談、
当人不在での噂話など
- 主は不用意な言葉を裁き給う
(マタイ 12 : 36)
- 「建徳」を私たちの会話のモットーに！
(コロサイ 4 : 6)

5. 聖霊を悲しませる v s 喜ばせる (30節)

- 繊細な、そして聖いお方を
悲しませてはならない
- 聖霊に従い、聖霊を喜ばせる思いと
会話を

6. 悪意 v s 親切 (31-3 2節)

- 捨て去るべきもの： 無慈悲、憤り、怒り、
叫び、そしり
- 実践すべきもの： 親切、同情、赦し合い

(マタイ 18 : 21 - 36)

おわりに

- 「律法主義的に」 捉えないように
- しかし、弱点については、

正直に自己採点しよう

- 弱点に恵みをあてはめよう